



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	情報社会における旅行行動の特徴に関する研究 : アニメ聖地巡礼と大河ドラマ観光の比較・検討を通して
Author(s)	岡本, 健
Description	要旨の出典 : 『観光情報学会第1回研究発表会講演論文集』 pp. 45-52
Relation	観光情報学会第1回研究発表会, 平成21年12月12日, 北海道大学遠友学舎、北海道札幌市.
Issue Date	2009-12-12
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/40101
Type	conference presentation
File Information	okamoto_STI091212.pdf, プレゼンテーション資料



情報社会における 旅行行動の特徴に関する研究

—アニメ聖地巡礼と大河ドラマ観光
の比較・検討を通して—

観光情報学会 第1回研究発表会

2009年12月12日

於：北海道大学 遠友学舎

北海道大学大学院
国際広報メディア・観光学院
観光創造専攻 博士後期課程

岡本健

E-mail: okamotot@cats.hokudai.ac.jp

本発表の目的

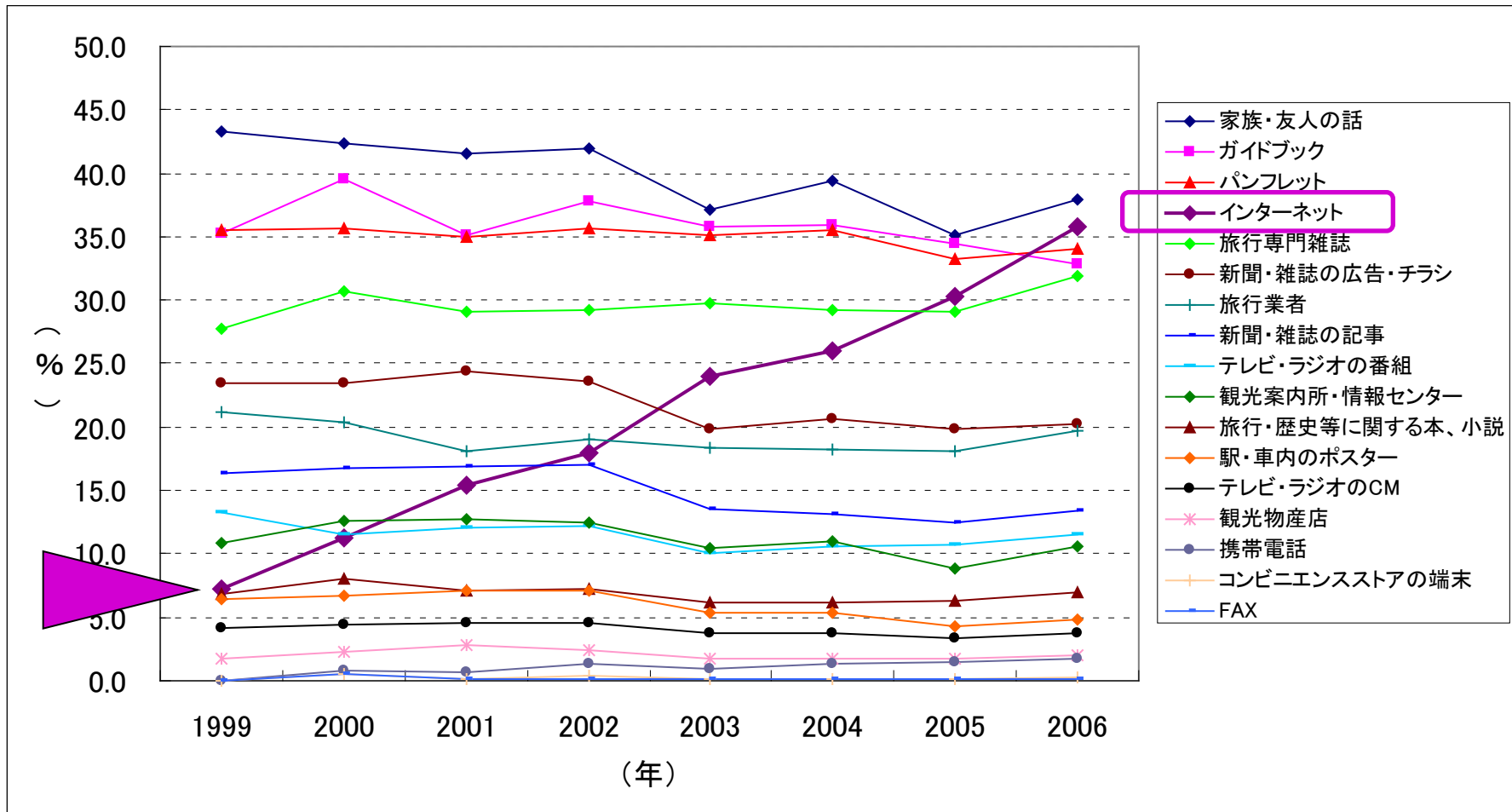
- ① 情報通信機器が、旅行行動に
どのような影響を与えているのかを、
具体的に明らかにする。
- ② 情報社会に即した
旅行者行動論の枠組みを提示する

背景

- ① 社会の情報化が進展
- ② それによって様々な人間行動が変容している。
- ③ 旅行行動も例外ではない
- ④ たとえば、旅行の情報源としてのインターネットの利用率が上昇している。

背景

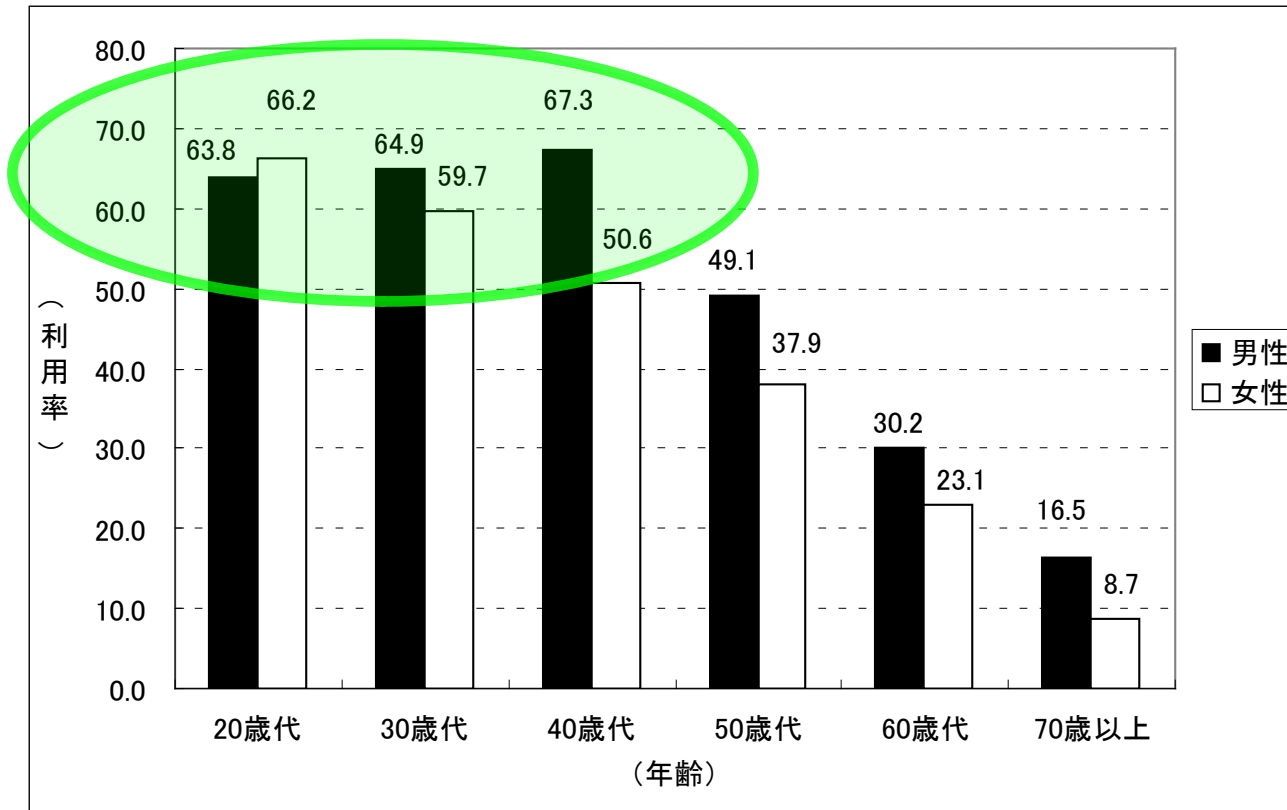
各種旅行情報の利用率の推移



岡本健(2009), 観光情報革命時代のツーリズム(その4)～「旅行情報化世代」～, 北海道大学文化資源マネジメント論集, 6, p.6の図-5

背景

ネットの「検索サイト」を
旅行情報源として用いている人の割合



方法

アニメ聖地巡礼と大河ドラマ観光の比較

共通点

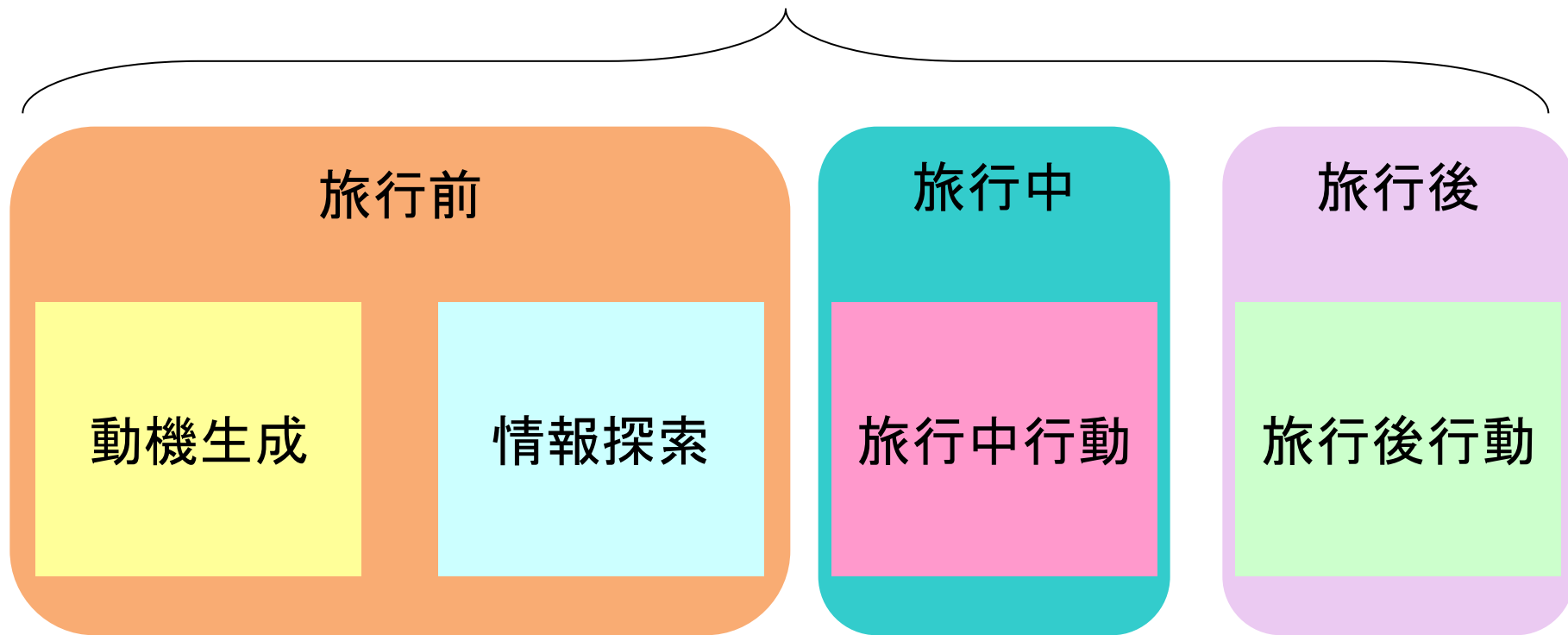
- ・ 連続物のメディアコンテンツが旅行動機生成の中心
- ・ 観光地を直接宣伝するものではなく、物語を重視した自律的で自己完結的なメディア（中谷2007）

相違点

- ・ アニメ聖地巡礼では、巡礼者が主体的、能動的に運営などに参画したボトムアップ的なアニメ聖地巡礼型まちづくりが起こるケースがある。

方法

「一連の旅行行動」(岡本・山村 2008)



結果

コンテンツの特徴

大河ドラマ観光

- ・1960年代からNHKで放映されている歴史ドラマ。
- ・「大河ドラマ」というジャンルを確立
- ・一貫して「日本の歴史」を描いている
- ・第4作目の「源義経」(1966年)から、すでに大河ドラマ観光が起こっていた。
- ・大河ドラマの舞台になると決定した段階から当該地域への入れ込み客数が増加する。

アニメ聖地巡礼

- ・中高生以上向けのアニメ
- ・アニメ風ではあるが、実際の風景に極めて近い背景が用いられている場合がある。
- ・アニメの舞台がどこであることを特定するのは簡単ではないものも多い。
- ・テレビでは深夜に放送する物が多く、DVDやインターネットでの流通が中心

結果

動機生成

大河ドラマ観光

- ・大河ドラマの放映時に関連地域を紹介する番組が付随している。
- ・ドラマ自体の視聴が無くても動機生成がなされる。
 - ドラマの舞台が決定しただけで、当該地域への入れ込み客数が増加(中村 2003)

アニメ聖地巡礼

- ・アニメの視聴と関連情報
- ・関連情報は、「外部情報」と「内部情報」に分けられる
- ・アニメ聖地巡礼自体が有名になっているため、アニメ自体を視聴しない場合も考えられる。
- ・大きく分けて3通り
 - ①「開拓的アニメ聖地巡礼者」
 - ②「追随型アニメ聖地巡礼者」
 - ③「二次的アニメ聖地巡礼者」

アニメ聖地巡礼の動機形成

アニメの視聴

+

背景が実際に
存在するという情報

外部情報

ネット上の情報
雑誌・新聞
DVD特典など

内部情報

記憶

結果

情報探索

大河ドラマ観光

- ・通常の旅行情報の探索と同様に、ガイドブック、パンフレット、インターネットなどが用いられる。
- ・番組ホームページでも舞台が紹介されている。
- ・大河ドラマ関連書籍（既存＋新刊）
- ・大河ドラマに関連した土地を巡る
特別番組の放映

アニメ聖地巡礼

- ・通常の旅行情報の探索と同様に、ガイドブックやパンフレット、インターネットで自治体が開設しているホームページなどが用いられる。
- ・巡礼者が発信する情報
前述した3種類の巡礼者のうち、「開拓的アニメ聖地巡礼者」は、様々な情報源を用いて、アニメ聖地を発見し、ネット上のブログやホームページで情報を発信する。

結果

旅行中行動

大河ドラマ観光

- ・パックスツアー参加が多い
- ・実際にはパックスツアーではなくても、まち歩き観光というよりも、有名な観光施設を回る周遊型
- ・関連施設を巡る、写真を撮影する、土産物を購入する、など、通常の団体旅行と同様
- ・大河ドラマと関連した博物館や資料館、展示会などが開催されている事もありそれを巡ることも大河ドラマ観光の中心

アニメ聖地巡礼

- ・大きく分けて4つの行動
- ①アニメ聖地の写真をアニメで登場するアングルで撮影すること。
- ②旅の記念物として「聖地巡礼ノート」「痛絵馬」「黑板アート」「グッズ」「イラスト」などを残していく。
- ③「実況中継」「巡礼記」としてブログや掲示版に情報を発信する。
- ④巡礼者同士、巡礼者と現地の人々でコミュニケーションが認められる。

旅行中行動①



埼玉県北葛飾郡鷺宮町鷺宮神社



埼玉県幸手市権現堂桜堤

旅行中行動②

聖地巡礼ノート





鷺宮町・鷺宮神社絵馬掛所

旅行中行動②

持ち寄られたグッズ



鷺宮町・寿司店カウンター



大町市・山正旅館

旅行中行動②



豊郷町・豊郷小学校

黒板アート

鷺宮町・大酉茶屋



結果

旅行後行動

大河ドラマ観光

- ・他者に大河ドラマ観光の体験について話をする。
- ・学習意欲の強い旅行者は、旅行後にさらに大河ドラマ関連の書籍や、登場人物、歴史について情報を探索する。

右のどちらにおいても、地元住民への配慮が見られるのが大きな特徴。

「迷惑にならないようにしましょう」など、注意書きが書かれていることが多い。

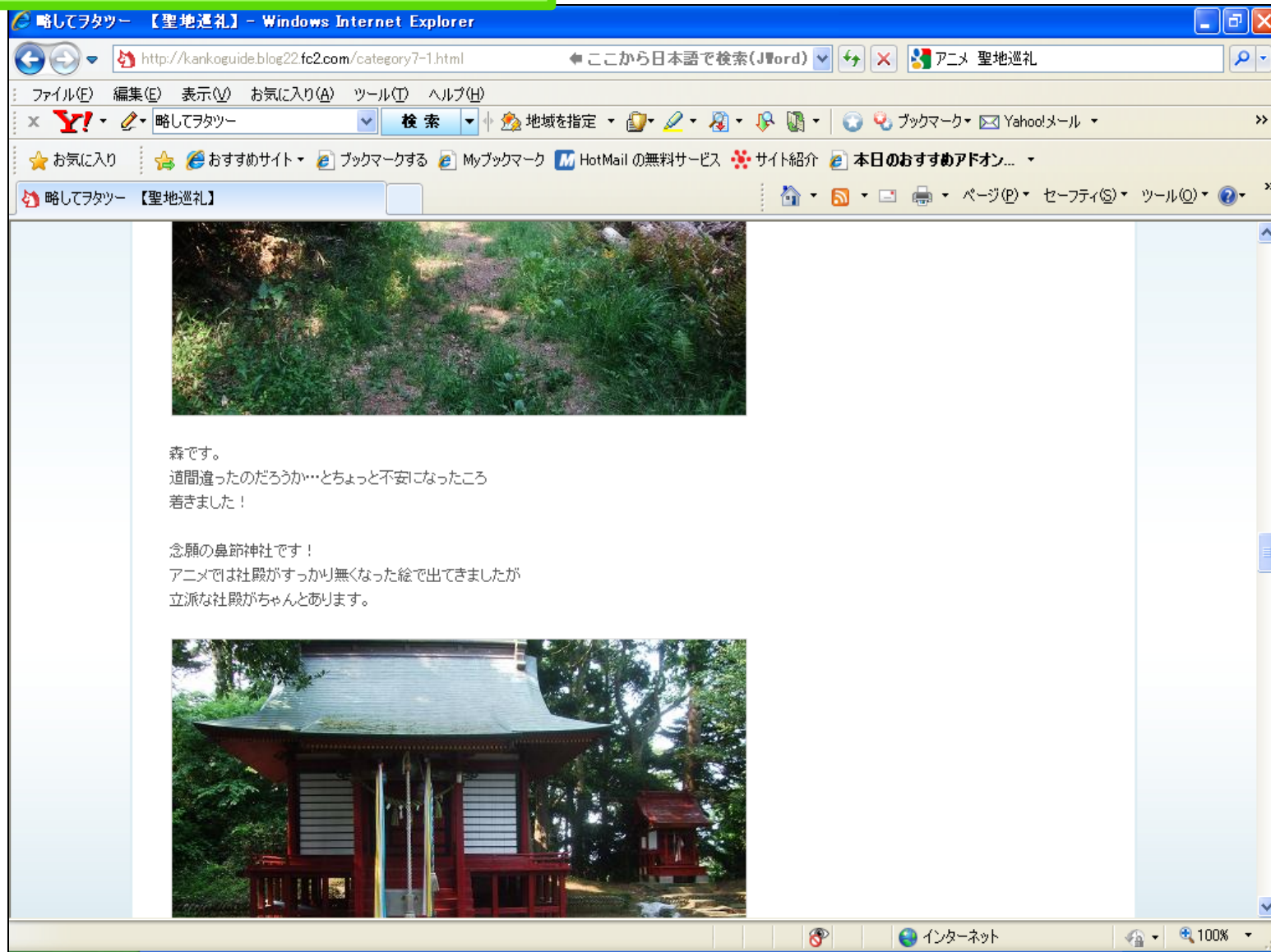
アニメ聖地巡礼

- ・特徴的なのは大きく分けて2点
- ①インターネット上の発信
「巡礼記」がブログやホームページ、などで、発信される。
- ②同人誌による発信
聖地に関するガイドブックを自費で作成する者がいる。

現地調査で、複数人数で訪れているグループにインタビューを行ったところ1人が以前来たことが有り、熱烈に他のメンバーを誘って訪れた、ということも良く見られたので、他者に語るということも行われている。

旅行後行動①

ウェブ上の巡礼記



旅行後行動②

同人ガイドブック



おねてい・ガイドブック



らき☆すた・ガイドブック

考察

① 旅行者の情報発信と情報の編集

大河ドラマ観光では、コンテンツ制作者側が行っている情報の編集および発信を、アニメ聖地巡礼では、巡礼者自身が行っている。

② 動機生成・情報探索段階の主体性の違い

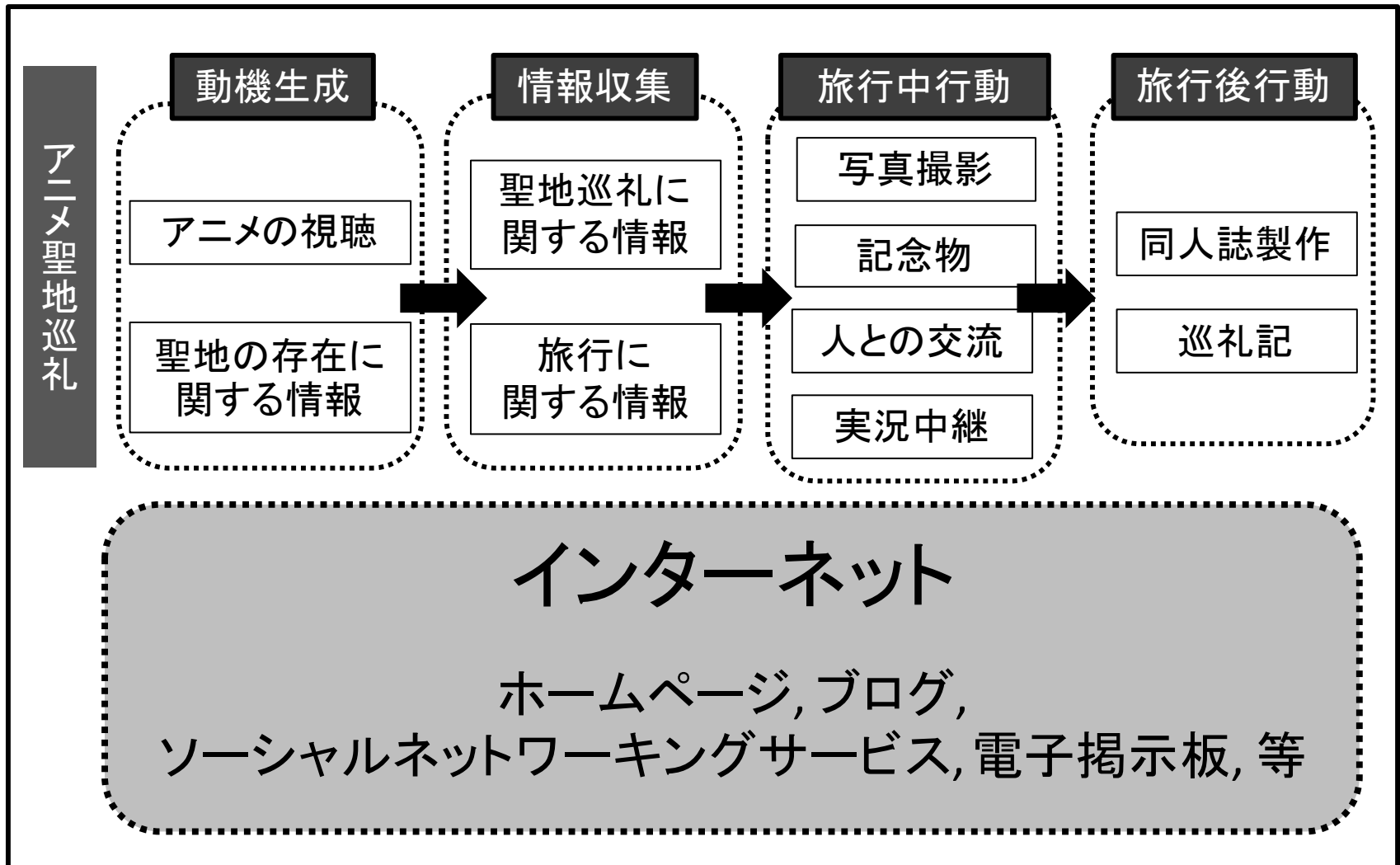
大河ドラマの場合、整理された情報が流通する。
アニメ聖地巡礼の場合は、巡礼者が情報発信者であり、アーカイブ化の試みなどもあるが、基本的には情報はあまり整理されていない。そのため、自分で取捨選択せねばならず、主体的な態度が形成されるのではないか。

③ 旅行者同士のつながり

聖地巡礼者のネット上でのつながりが見られる。それぞれが発信しているため、お互いがお互いを認識する機会が多い。

考察

アニメ聖地巡礼行動とインターネットの関係



考察

概念の一般化

旅行前

動機生成

情報探索

旅行中

旅行中行動

旅行後

旅行後行動

情報空間



今後の課題

- ① 情報空間でなされるコミュニケーションのあり方
- ② 情報交換や社会的ネットワークについて
- ③ 地元住民との関係構築のされ方
- ④ 旅行中の旅行者同士の
コミュニケーションのあり方
- ⑤ 構築した概念を元に、情報空間を含めた
旅行行動の様態を明らかにし、理論化していく。

アニメ聖地巡礼研究関連文献①

- **メディアコンテンツとツーリズム：鷺宮町の経験から考える文化創造型交流の可能性**（CATS叢書：観光学高等研究センター紀要；第1号）
<http://hdl.handle.net/2115/38119>（HUSCAP）
- 岡本健、2009、「**アニメ聖地巡礼の誕生と展開**」、『CATS叢書 メディアコンテンツとツーリズム』、1号
- 岡本健、2009、「**「らき☆すた」に見るアニメ聖地巡礼による交流型まちづくりー埼玉県鷺宮町**」、『観光の地域ブランディング』、学芸出版社
- 岡本健、2009、「**らき☆すた聖地「鷺宮」巡礼と情報化社会**」、『観光の空間』、ナカニシヤ出版
- 岡本健、2009、「**来訪者の回遊行動を誘発する要因とその効果に関する研究 ～埼玉県北葛飾郡鷺宮町における「飲食店スタンプラリー」を事例として**」、『日本建築学会二〇〇九年度大会（東北）学術講演梗概集F-1 都市計画 建築社会システム』、pp. 219-220.
- 岡本健・釜石直裕・松尾友貴、2009、「**旅行者の観光資源に対する認識の変化に関する研究～豊郷小学校旧校舎群における来訪者の認識変化について～**」、『第24回日本観光研究学会 全国大会学術論武運集』、pp. 221-224.

アニメ聖地巡礼研究関連文献②

- 岡本健、2009「情報化が旅行者行動に与える影響に関する研究：アニメ聖地巡礼行動の事例分析から」、『2009年日本社会情報学会 (JSIS & JASI) 合同研究大会 研究発表論文集』 pp. 364-367
- 岡本健、2009「アニメを動機とした旅行行動の実態に関する研究～アニメ聖地巡礼研究および調査の整理を通して～」、『観光・余暇関係諸学会共同大会学術論文集』 pp. 43-50
- 岡本健、2009「観光旅行者のホスピタリティ認知計測に関する研究～アニメ聖地巡礼ノートの分析から～」、『日本ホスピタリティ・マネジメント学会第18回全国大会研究発表要旨集』 pp. 22-23
- 岡本健、2008「アニメ聖地における巡礼者の動向把握方法の検討：聖地巡礼ノート分析の有効性と課題について」、
『観光創造研究』、2号
- 岡本健、2009、「観光情報革命時代のツーリズム（その4）～「旅行情報化世代」～」、『北海道大学文化資源マネジメント論集』、6号

アニメ聖地巡礼研究関連文献③

- 山村高淑、2009「観光情報革命が変える日本のまちづくり：インターネット時代の若者の旅文化と新たなコミュニティの可能性」、『季刊まちづくり』、22号
- 山村高淑、2009「観光情報革命と文化創出型観光の可能性ーアニメ聖地巡礼に見る次世代ツーリズムの萌芽」、『地域開発』、533号
- 山村高淑、2009「観光革命と21世紀：アニメ聖地巡礼型まちづくりに見るツーリズムの現代的意義と可能性」、『CATS叢書』、1号
- 山村高淑、2008「アニメ聖地の成立とその展開に関する研究～アニメ作品「らき☆すた」による埼玉県鷲宮町の旅客誘致に関する一考察～」、『北海道大学国際広報メディア・観光学ジャーナル』、7号
その他、「鷲ペディア☆washipedia」で関連文献を整理してあります。

【URL】

<http://www.cats.hokudai.ac.jp/~deko/washipedia.html>



ご清聴有難うございました。